小豆島町 高潮ハザードマップ

◆高潮ハザードマップとは

高潮ハザードマップは、小豆島町において水防法に定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、小豆島町内において想定される浸水の深さ（浸水深）、避難所等が記載されています。このマップを活用し、高潮に対する具体的なイメージをもって、その特性を理解し家族間で危険な場所、避難ルートを知っておくことが重要です。

◆ハザードマップの使い方

①自宅の位置を確認する

自宅の位置に印をつけましょう。

②高潮による浸水深を把握し危険な場所を確認する

地図上にて高潮による浸水深を色分けして表示しています。自宅周辺の危険な場所を確認しましょう。

③避難する場所を確認する

自宅から最も近い指定避難場所の「位置」と「名前」を２ヵ所以上確認しておきましょう。

④安全な避難経路を考える

自宅から最も近い避難場所（③で決めた場所）までの避難経路を考えて書き込んでおきましょう。また避難が困難な場合は近くの高台への避難も視野にいれて、避難経路を考えてください。

⑤自分たちの目で避難経路を確認する

設定した避難経路を実際に歩いてみて、安全性や注意点など確認しておきましょう。

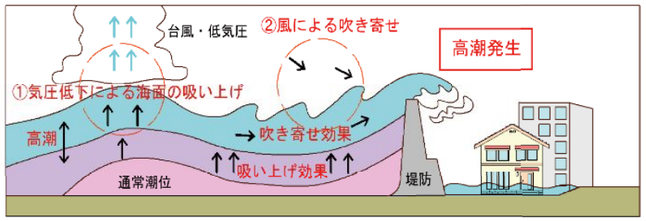
⑥非常時の持ち出し品を準備しておく

非常時の持ち出し品チェックリストを参考に、避難する時に必要な物を予め準備しておきましょう。

◆高潮の基礎知識

■発生のメカニズム

高潮は、台風や発達した低気圧の接近により潮位が高くなることで海水が内陸部に入り込み、浸水被害を起こします。主な発生原因は次の通りです。



①気圧低下による海面の吸い上げ

台風や低気圧の中心気圧は周辺より低いため、周囲の空気は海面をおしつけ、中心付近の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が１ｈPa 低くなると、海面は約１cm上昇します。

②風による吹き寄せ

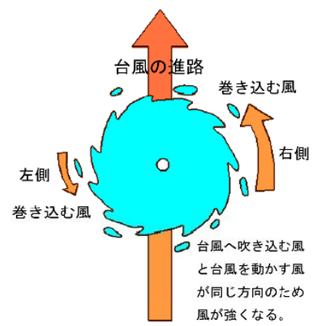
台風に伴う強い風が沖から海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられ、海岸付近の海面が異常に上昇します。水深が浅いほど、風の吹き寄せ作用がよく働き、高潮が発生しやすくなります。

■高潮時の危険な場所と時間

次のような場所や時間は特に注意が必要です。
このような場所では、避難する意識を持っておきましょう。

- **海岸近くの低地**
  満潮時は海面の高さより標高の低い土地は、堤防が決壊すると海水が流れてきて、浸水被害を受ける可能性があります。
- **湾の奥や河口部**
  湾の奥は吹き寄せられた海水が集まり、潮位が上がります。また河口では高潮と洪水の危険が高くなります。
- **大潮の満潮時**
  台風の最接近時に高潮が発生しやすく、大潮の満潮時には、最も潮位が高くなります。両方が重なった時、高潮のリスクは最も高くなります。

台風の進路との関係

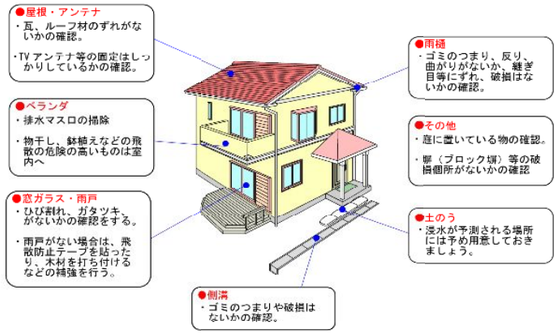


令和６年３月作成
発行：小豆島町　総務課危機管理室

◆大雨・台風時の避難の心得

■直前の準備

●家の外



●家の中

・懐中電灯、携帯ラジオ、貴重品、水や非常食の持ち出し品の確認

・雨戸を閉めたり、飛来物が入り込んでくるのを防ぐためカーテンやブラインドを閉める。

・貴重品、動かせる家具・家電製品など、水に浸かると困るものを高い所に移動させる。

・停電に備えて、携帯電話やパソコンを充電する。

■いざ避難する時

●自分自身でこまめな情報収集を心がける

●状況によりすばやく避難しましょう

町から避難情報が発令されていなくても、雨の状況等から判断し自主的に避難しましょう。

●浸水時には長靴は厳禁

避難の際には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。浸水する前に、動きやすい服装で避難しましょう。

●自動車での避難は危険

自動車は約30㎝の浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。

●家族への連絡

外出中の家族には、どこへ避難するといった連絡をしておきましょう。

●近所の人と助け合いながら避難しましょう

単独での行動は避け、近所の人と決められた場所に避難しましょう。また高齢者の方々の避難支援にも協力しましょう。

●安全なルートで避難

避難場所への経路は、川べりや土砂災害等の危険場所を避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

●感染症の予防

マスク着用、アルコール消毒、ソーシャルディスタンスの確保に心がけましょう。

※避難場所に着いたら、担当職員の指示に従い行動しましょう。

◆マイ・タイムラインを作ろう

◇マイ・タイムラインとは、 住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、台風等の接近による大雨、高潮、土砂災害の時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための避難ツールの一つです。

平常時に備えておく

時間	事前に確認しておこう（記入）
平常時	●自宅の状況確認 □土砂災害警戒区域　□高潮浸水深　　m ●避難する場所 □避難場所　□親戚・知人宅　□その他 実際に避難する場所：＿＿＿＿＿＿ ：＿＿＿＿＿＿ ●避難のときに支援してくれる人 名前　：＿＿＿＿＿＿ 電話番号：＿＿＿＿＿＿ ●避難のときに支援する人 名前　：＿＿＿＿＿＿ 電話番号：＿＿＿＿＿＿ ●避難するタイミング（警戒レベル） □レベル２　□レベル３　□レベル４ ●非常持ち出し品 □飲料水　□非常食 □貴重品（現金・通帳・印鑑・保険証等） □常備薬　□お薬手帳　□衣類（下着を含む） □懐中電灯　□携帯ラジオ　□携帯電話（充電器含む）　□マスク　□ビニール袋　□毛布 □タオル　□雨具　□簡易トイレ　□救急セット　□紙オムツ　□生理用品　□除菌アルコール　□タオル　□歯ブラシ等の口腔ケア用品　□乳幼児に必要な物　□その他生活に欠かせないもの

台風の前に備える ／ 避難行動の準備 ／ 避難開始・身の安全確保

想定	気象情報・警戒レベル	我が家がとるべき行動・備え	行動・備え（事例）
3 日以前 大雨発生の可能性	[台風発生] << 台風の進路予想が天気予報で伝えられる >> ◆警戒レベル１ ・早期注意情報（警報級の可能性）	○ ○ ○ ○ ○	○テレビの天気予報に注意 ○1 週間分の薬を取りに行く ○家族の予定を確認 ○タイムラインを確認 ○非常時持ち出し品の確認
24 時間前 雨が降り始める	◆警戒レベル２ ・大雨・洪水注意報 ・高潮注意報 << 台風が近づいて雨や風が徐々に強くなる >>	○ ○ ○ ○ ○	○テレビやインターネット・メールで情報を再度確認 ○町内の防災無線で情報確認 ○家族の予定を確認 ○ハザードマップにて避難場所、避難経路を確認 ○携帯電話の充電
12 時間前 ～ 6 時間前 雨が強さを増す	◆警戒レベル３ 高齢者等避難 ・大雨・洪水警報 ・警報に切替える可能性のある高潮注意報	○避難に時間のかかる高齢者等は避難を開始 ○ ○ ○ ○ ○	○住んでいる場所の雨量や台風の状況を確認 ○避難に時間がかかる人は避難開始 ○避難しやすい服装に着替える ○避難開始 ○近隣の住民を誘う ○外へ避難できない場合は、屋内の安全な場所に避難する
3 時間前 大雨となる	◆警戒レベル４ 避難指示 ・土砂災害警戒情報 ・高潮特別警報 ・高潮警報 ・記録的短時間大雨情報	○避難開始 （高齢者等は避難完了） ○ ○ ○ ○ ○ ★避難する全ての人が避難を完了	
0 時間 災害発生	◆警戒レベル５ 緊急安全確保 ・大雨特別警報	○避難が完了していない人は命を最優先に行動をしてください。	

※家族と情報を共有し相談しながら記入すると防災意識の向上につながります。（このページを拡大印刷してご利用下さい）
※想定はあくまで参考です。状況により変化します。また気象情報や警戒レベル等が発表されるタイミングも状況により変化します。
※マイ・タイムラインは、あくまで参考です。状況に応じタイムラインよりも早く行動を起こすことも大切です。

★マイ・タイムライン検討ツール「逃げキッド」の紹介

・逃げキッドとはマイ・タイムラインを作るお手伝いをするための入門的ツール
URL:http://www.river.or.jp/jigyo/my-timeline_download.html

Android・ios